

## 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

タイトル 三位一体による地域密着活動

J A 名 津軽みらい (青森県)

1 動機 (経緯)	<p>・当 J A 管内はコメ・りんごを主とした 1 次産業が主とした地域であり、保育園小学生の実家が農家家系多数であった為、小学校側より授業の一環として農業についての指導を当 J A へ依頼された。</p>
2 概要	<p>・小学校側の依頼を受け、当 J A では、平成 3 年 4 月より、管内小学生 (2 年生・4 年生・6 年生対象) 及び保育園児を対象とし授業の一環として、農産物を育てる楽しさや苦労の体験、食べ物への感謝、農業に対する学習を深めてもらう為、組合員の園地を利用し J A 指導員が作付けから収穫までを指導した「ふれあいわんぱく農園」を開園した。(主としてさつまいも) また、小学生 (5・6 年生対象) は授業にて各自でバケツにコメを作付けから収穫まで行う「バケツ苗」を行っている。(わんぱく農園・バケツ苗ともに今年で 23 年目)</p>
3 成果 (効果)	<p>・作付けから収穫までを授業の一環として子供達が体験し、わんぱく農園で収穫されたさつまいもやバケツ苗で収穫したコメで作ったおにぎりを昼食時に児童みんなで食べることにより食べ物の感謝を覚えた。</p>
4 今後の 予定 (課題)	<p>・課題として、組合員の農業離れにより家業を継ぐ子供達が近年減少しており、幼少期では農業に関心があった子供達も年齢を追うごとに関心が薄れている現状である。</p> <p>このような現状を打破する為、行政 (市)・J A・生産者が三位一体となった取組みをしなければならない。(例えば行政では地産地消のアピール、新規農業者等に奨励金措置の実施、価格安定制度実施、ブランド化の浸透。J A は積極的な低金利融資、品質向上の指導。生産者は安心・安全・高品質な農産物の生産、所得向上等)</p>